

第2回 青谷かみじち遺跡土曜講座



7月21日(土) 午後1時30分から3時まで 定員90名
〈報告会〉青谷上寺地遺跡の整備活用について

埋蔵文化財センター 係長 濱田 竜彦



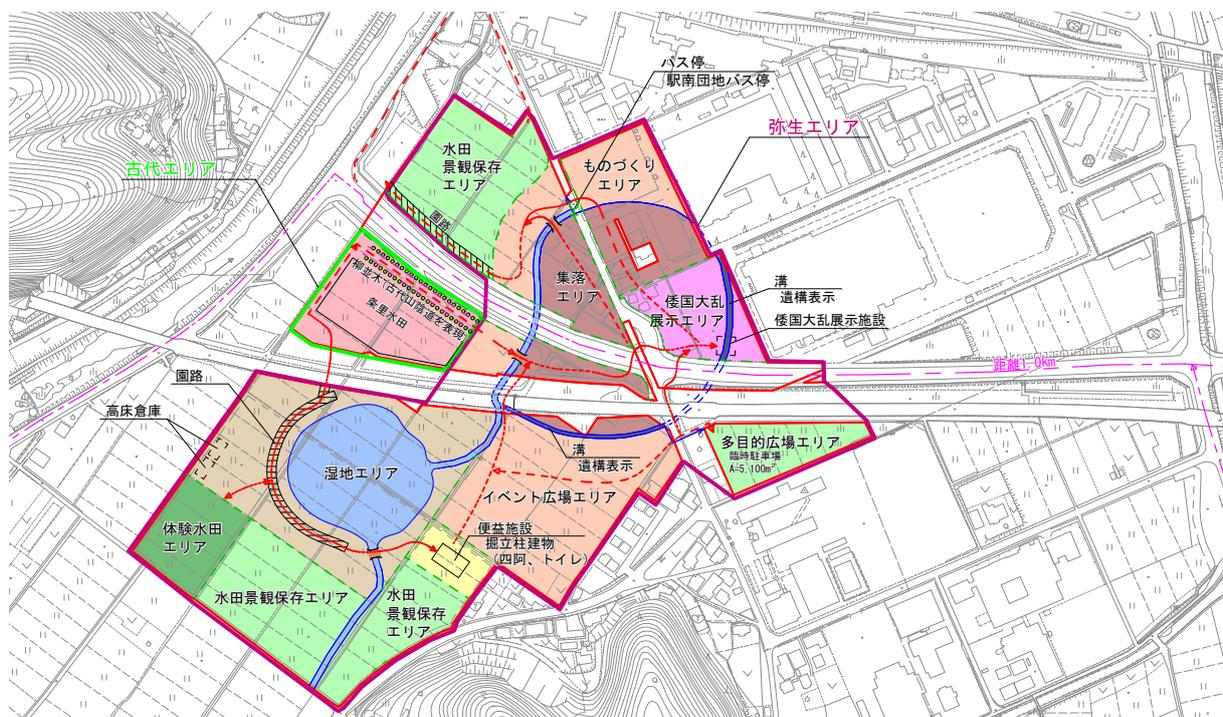
いよいよ動き出した青谷上寺地遺跡の整備。
一緒に弥生時代を楽しみませんか!

1800年の時を越えて、青谷の町に弥生時代が甦ります。

弥生時代の人々の営み、人々を取り巻く自然が体感できる、そんな空間を目指して検討を重ねて

いる青谷上寺地遺跡整備活用の計画をご報告するとともに、史跡の楽しみ方をご紹介します。

講座終了後には、青谷調査室収蔵展示室を公開、展示解説を行います。



会場

鳥取市青谷町総合支所2階多目的ホール（JR青谷駅下車徒歩10分、山陰道青谷インターから5分）

定員

90名 参加費無料、事前申込み必要（申込みが定員に満たない場合は、当日参加も可能です。）

申込方法

下記問合せ先まで、電話・ファクシミリ・電子メールでお申込みください。ファクシミリ・電子メールでお申込みの場合は、受付完了のお知らせのためにお名前・電話番号を明記ください。

* 講座申込みのための個人情報、本目的以外には使用しません。

問合せ先

鳥取県埋蔵文化財センター青谷調査室

〒689-0592 鳥取市青谷町青谷6 6 7（鳥取市青谷町総合支所2階）

電話 0857(85)5011、ファクシミリ 0857(85)5012

電子メール maibuncenter@pref.tottori.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>

本年度講座の日程と概要

日程／定員	講座タイトル	講師等
第 1 回 5 月 26 日(土) 13:30～15:30 定員 45 名	〈野外講座〉 「ぶらっと青谷れきし学 Part2 」 青谷のまち中に残る歴史の痕跡を探す野外講座の第 2 弾。約 2 時間の行程です。 終了しました。	案内役 埋蔵文化財センター職員 荒天の場合は座学に変更します。
第 2 回 7 月 21 日(土) 13:30～15:00 定員 90 名	〈報告会〉 「青谷上寺地遺跡の整備活用について」 遺跡の整備活用について現在の状況と整備の方向性をご報告します。	濱田 竜彦(埋蔵文化財センター)
第 3 回 9 月 29 日(土) 13:30～15:00 定員 90 名	〈特別講演〉 「近畿型銅戈と青谷上寺地遺跡」 近畿以西で初めて出土した近畿型銅戈。銅戈をめぐる諸問題を武器形青銅器研究の第一人者がやさしく解説。青谷上寺地遺跡の銅戈の謎を探ります。	講師 吉田 広 (愛媛大学ミュージアム准教授 とっとり弥生の王国調査整備 活用委員会委員)
第 4 回 11 月 24 日(土) 13:30～15:00 定員 90 名	〈トークセッション〉 「海辺の村を読み解く～青谷上寺地遺跡と秋里遺跡～」 近年、千代川河口に立地する秋里遺跡の様子が明らかになってきました。青谷上寺地遺跡と秋里遺跡。海辺にあった村から見えてくる弥生時代とは？	パネリスト 大川 泰広(埋蔵文化財センター) 枳家 豊(埋蔵文化財センター) コーディネイター 北浦 弘人(埋蔵文化財センター)
第 5 回 1 月 19 日(土) 13:30～15:00 定員 90 名	〈平成 30 年度発掘調査成果〉 「第 18 次調査の最新速報」 遺跡中心域北側で計画している発掘調査の速報です。いよいよ弥生の海が明らかに！	大野 哲二(埋蔵文化財センター)

講座終了後に青谷調査室収蔵展示室を公開します。

詳しい内容はその都度、埋蔵文化財センターホームページやチラシ等でお知らせしますので、ふるってご参加ください。

青谷調査室 収蔵展示室のご案内

国史跡青谷上寺地遺跡の出土品を300点ほど収蔵展示しています。選りすぐりの出土品を収蔵棚に配架した状態で公開していますので、間近でご覧いただけます。写真撮影も、一部を除いて可能です。ぜひご来館いただき青谷上寺地遺跡のすばらしさを感じてください。

◎場 所 鳥取市青谷町総合支所 2 階 (鳥取県埋蔵文化財センター青谷調査室)

◎開館日 平日 ◎開館時間 午前 9 時～午後 5 時 (受付は午後 4 時 30 分まで)

◎入館料 無料 ◎展示解説 専門職員が解説します。

【問合せ先】青谷調査室 電話 0857(85)5011